

水島リフレッシュ構想総括報告書

〔平成23年度～令和2年度〕

令和4年2月

倉敷市建設局まちづくり部まちづくり推進課

目次

1. 水島リフレッシュ構想が目指したまちの将来の姿

- (1) リフレッシュ構想の対象区域 1
- (2) リフレッシュ構想の全体構造 2
- (3) リフレッシュ構想の位置づけ 3

2. 水島リフレッシュ構想で実施した事業

- (1) リフレッシュ構想の主なハード事業の概要 4
- (2) リフレッシュ構想の主なソフト事業の概要 6

3. 水島リフレッシュ構想の検証と評価

- (1) 関連する各種統計データ 8
- (2) 主な施設の利用状況の推移 10
- (3) 人口の推移 13
- (4) 市民アンケート 14
- (5) まちづくり協議会の設立 20

4. 水島リフレッシュ構想の総括

- (1) 全体総括 21
- (2) 今後に向けて 22

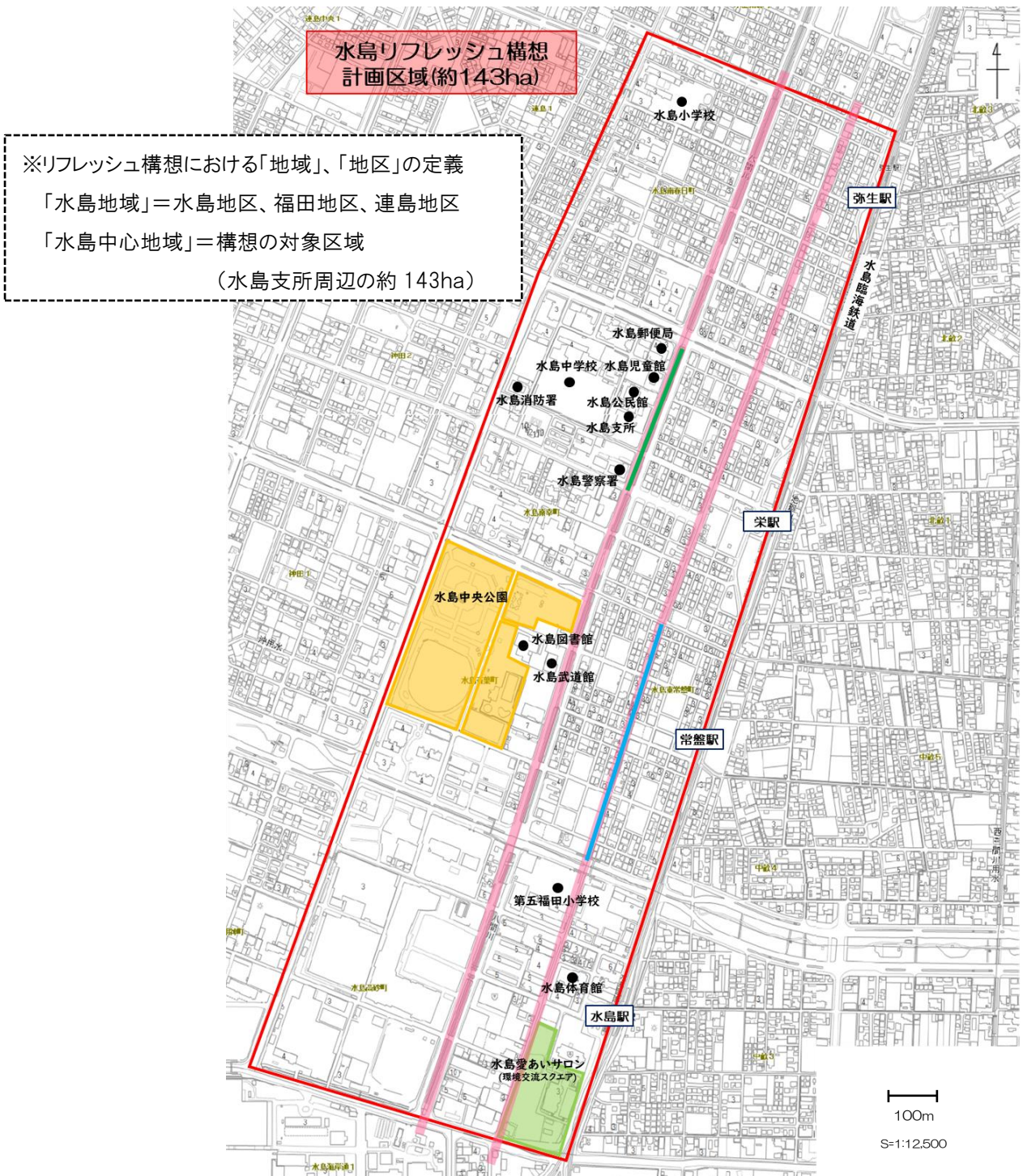
1 水島リフレッシュ構想が目指したまちの将来の姿

倉敷市では、平成23年度から令和2年度までの10年間を計画期間とする水島リフレッシュ構想を策定し、倉敷市の目指す将来像「自然の恵みとひとの豊かさで個性きらめく倉敷」の実現に向け、既存の公共施設のリニューアルや市民協働によるソフト事業を実施し、水島地域全体に活力をもたらすよう、水島中心地域の活性化を図った。

(1) リフレッシュ構想の対象区域

東西を水島臨海鉄道と県道水島港線に挟まれ、南北を国道430号線と市道連島北畝線に囲まれた、水島中心地域(約143ha)をリフレッシュ構想の対象区域とした。

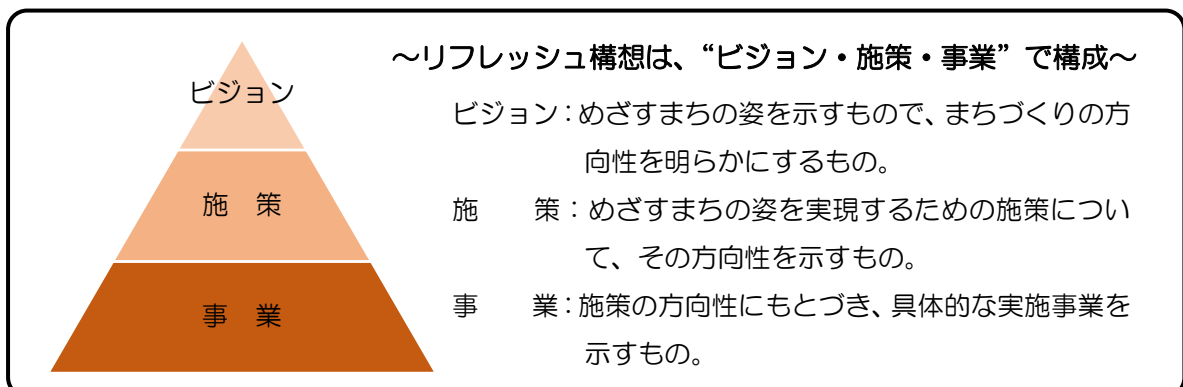
(面積:倉敷市全体354,722ha、水島地域約6,164ha、構想の対象区域約143ha)



(2) リフレッシュ構想の全体構造

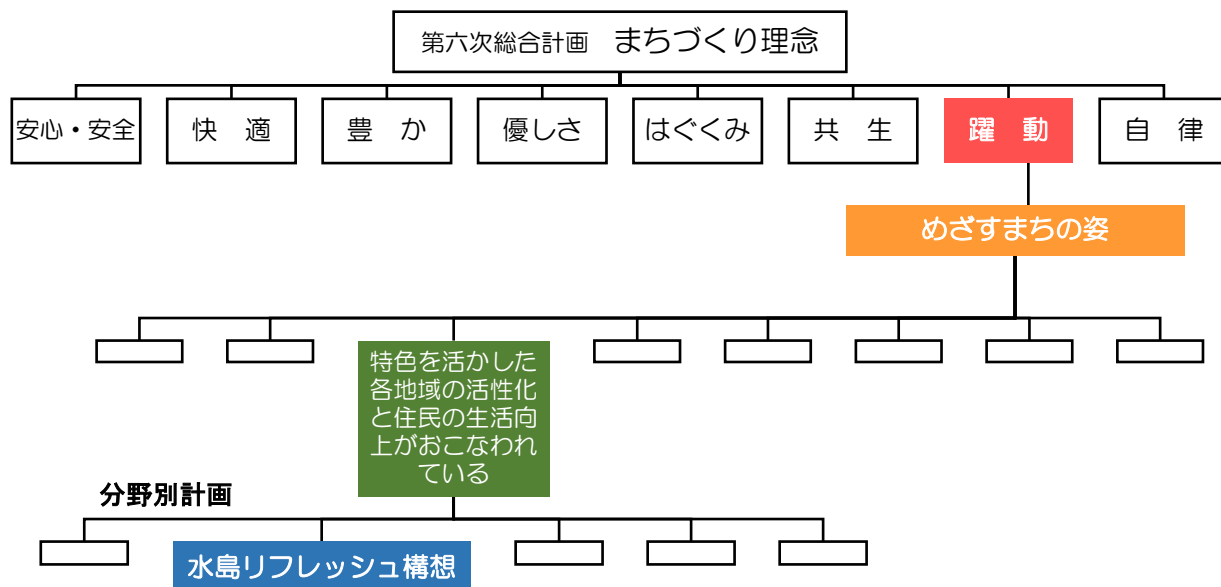
水島リフレッシュ構想の推進にあたっては、次の2つの視点と4つのビジョンを掲げた。また、ビジョンの実現に向け、12の施策と42の事業を設定した。

視点A 生活者の視点	
【ビジョンⅠ】 ここで暮らし・働き・学ぶ私たちが地域を愛し、ともにまちづくりに取り組む まち	
施策 ア	地域住民が、お互いを知る施策
施策 イ	地域住民が、仲間や知人と積極的に交流する施策
施策 ウ	地域住民が地域の歴史や文化を学び、新たな魅力を創る施策
施策 エ	若者がまちづくり活動に向かう施策
施策 オ	地域住民が主体的にまちづくりにかかわる施策
【ビジョンⅡ】 徒歩や自転車で生活できる便利でエコな まち	
施策 カ	地域住民が、徒歩や自転車で移動することを促進する施策
施策 キ	臨鉄ファンを増やす施策
施策 ク	地域住民等が地球に負担のかからない生活スタイルを実践する施策
【ビジョンⅢ】 安全・安心でいきいきと快適に暮らせるクリーンな まち	
施策 ケ	安全で快適な生活環境で暮らす施策
施策 コ	住民主体でまちの景観を創り、維持する施策
視点B 水島地域において中心地域が果たすべき役割	
【ビジョンⅣ】 水島地域の人々がまちづくり・スポーツ・文化等で集まり交流・連携する まち	
施策 サ	水島地域の交流や連携を促進する施策
施策 シ	水島地域の住民や通勤者などに公共サービスを使いやすくする施策



(3) リフレッシュ構想の位置づけ

水島リフレッシュ構想は、倉敷市第六次総合計画のまちづくり理念の一つである「躍動」がめざすまちの姿を実現するための分野別計画として位置づけられた。



2 水島リフレッシュ構想で実施した事業

水島リフレッシュ構想に基づき、各事業所管部署において公共施設のリニューアルや市民協働によるソフト事業等を、水島中心地域をメインに展開した。

主なハード事業として、水島中央公園のリニューアルや環境交流スクエアの整備・運営、八間川沿いの緑地整備、幹線道の舗装整備、水島商店街筋一部のカラー舗装などを実施した。

また、主なソフト事業として、水島朝市やクリスマスイルミネーションなど民間主導による交流イベントや、環境学習センターでの各種講座、水島フラワーロードの植栽、まちづくり研修会などを実施した。

なお、水島リフレッシュ構想に基づく個別の事業については、別紙「水島リフレッシュ構想事業一覧表」に、その評価とあわせてまとめた。

(1) リフレッシュ構想の主なハード事業の概要

施策	施策サ 水島地域の交流や連携を促進する施策
事業名	水島中央公園のリニューアル
期間	平成24年度～平成29年度
概要	公園施設の機能を長期的に発揮させるとともに、地域のニーズに応じた機能転換を図るため、H24年度からH29年度にかけて、水島中央公園の再整備を実施（芝生広場、噴水広場、ウォーキングコース、遊具、トイレなど）。 また、市民の誰もが安心して利用できる水泳場の再整備を目的に、H25年度からH27年度にかけて、水島中央公園水泳場のプール及び管理棟の改修工事を実施（管理棟改修、屋外幼児プール改修2ヶ所、屋外50m プール改修、屋外25mプール撤去、プールサイドなど）。

施策	施策オ 地域住民が主体的にまちづくりにかかわる施策
事業名	水島愛あいサロン（環境交流スクエア）の整備
期間	平成22年度～平成26年度
概要	岡山県から譲渡された旧水島サロンを改修し、H22年度に市民の交流の場として、環境交流スクエア東棟を整備（会議室、コミュニティフロアなど）。 また、H23年度に環境学習の拠点施設として、環境交流スクエア西棟に環境学習センターを整備するとともに、環境監視センターを同西棟に整備。 さらに、H26年度には、環境交流スクエア西側に多目的広場を整備（芝生広場、照明、ステージ、散水栓、水飲み場など）。

施策	施策カ 地域住民が、徒歩や自転車で移動することを促進する施策
事業名	八間川沿いの緑地整備
期間	平成24年度～平成27年度
概要	八間川東側の川沿いの水島郵便局交差点から水島警察署南側交差点までの約300mの区間に、幅約2.8mの緑地を整備。(実質緑地部は約240m) また、現況道路3車線を確保しつつ、八間川東側の3車線を東に移動し、郵便局以北と警察署以南の車線と整合。

施策	施策カ 地域住民が、徒歩や自転車で移動することを促進する施策 施策ケ 安全で快適な生活環境で暮らす施策
事業名	幹線道の舗装補修
期間	平成24年度～平成29年度
概要	H24年度からH29年度にかけて、幹線道路の舗装補修を実施。古い舗装に切削オーバーレイを施行し、安全な通行を確保。(道路延長5,500m、幅員6.5m～12m、連島町連島西千鳥町線・西千鳥町西寿町線・福田町浦田西千鳥町線) また、H24年度からH29年度にかけて、歩道段差修繕工事を実施。(自転車歩行者道に切削オーバーレイを施工。歩道延長3,800m、幅員2～3m)

施策	施策イ 地域住民が、仲間や知人と積極的に交流する施策
事業名	水島商店街筋一部の歩道カラー舗装
期間	平成26年度
概要	H26年度に、常盤町商店街通りの路側帯部分の緑色カラー舗装と舗装修繕を実施。(道路延長470m、幅員6.5m / 歩道部分と車道部分を分けたカラー舗装)

施策	施策ケ 安全で快適な生活環境で暮らす施策
事業名	水島中央公園に地域防災施設を整備
期間	平成28年度
概要	水島中央公園を地域住民の一時避難場所及び消防・救助隊などの緊急活動拠点として整備。防災施設として、平成28年度にマンホールトイレ5穴、かまどベンチ4基、停電時にも稼働する太陽光発電照明10基を設置。

施策	施策ケ 安全で快適な生活環境で暮らす施策
事業名	八間川周辺を含めた水島地域の浸水対策
期間	平成23年度～平成29年度
概要	汐入川遊水池の貯水能力を増大させるための遊水池しゅんせつ事業、満潮時の排水能力を増大させるための排水機場新設事業などを実施。

(2) リフレッシュ構想の主なソフト事業の概要

施策	施策ア 地域住民が、お互いを知る施策
事業名	フリーマーケットなどの交流イベントの開催
概要	環境交流スクエアの芝生広場を活用し、平成23年度より「水島朝市 with フリーマーケット」を水島朝市実行委員会が開催。また、平成24年度より環境交流スクエアの環境学習センターを拠点とした「環境フェスティバル」を開催。

施策	施策イ 地域住民が、仲間や知人と積極的に交流する施策
事業名	商店街を中心とした交流の促進
概要	地域住民が中心となり、水島商店街及び周辺において各種イベントを例年開催。(水島港まつり、X'mas イルミネーション in 水島、いすー1 グランプリ、臨鉄ガーデン、水島雛めぐり、ミズシマタ暮れガーデンなど)

施策	施策ウ 地域住民が地域の歴史や文化を学び、新たな魅力を創る施策
事業名	環境関連講座の開催
概要	環境学習センターにおいて環境NPOや企業等と連携・協力し、座学型、体験型など多様な講座を例年開催。また、水島公民館主催による各種講座も例年開催。

施策	施策オ 地域住民が主体的にまちづくりにかかわる施策
事業名	水島図書館に水島地域コーナーを設置
概要	水島図書館の郷土資料コーナーに、平成23年度より水島コーナーを設置。(資料数1396点 令和2年9月末現在)

施策	施策コ 住民主体でまちの景観を創り、維持する施策
事業名	花いっぱい運動の促進
概要	水島商店街通りにフラワーボックスを設置するとともに、八間川両岸の水島フラワーロードに、水島商店街、市民団体及び水島コンビナート企業が花を植栽。

施策	施策オ 地域住民が主体的にまちづくりにかかわる施策
事業名	まちづくり研修の実施
概要	地域住民が主体的にまちづくりにかかわる契機となるよう、平成25年度から平成27年度にかけて、「水島中心地域まちづくり研修事業」(研修会、講演会、ワークショップなど)を開催。

施策	施策オ 地域住民が主体的にまちづくりにかかわる施策
事業名	まちづくり活動の推進
概要	まちづくり団体等が「倉敷市市民企画提案事業」を活用し、水島中心地域でまちづくり活動を実施。また、まちづくり団体等が実施する事業や活動を、平成25年度から平成29年度にかけて、「水島中心地域まちづくり事業補助金」により支援。

施策	施策ウ 地域住民が地域の歴史や文化を学び、新たな魅力を創る施策
事業名	水島コンビナートをテーマにしたツアーの実施
概要	水島コンビナートの企業や夜景を巡るバスツアーを産業観光ツアー連携委員会が例年実施。水島コンビナートの夜景を船上から鑑賞する夜景クルージングを瀬戸大橋観光船協会が例年実施。また、水島のものづくりへの理解を深めることを目的に、水島港インターナショナルトレード協議会が「水島港見学会」を例年実施。

3 水島リフレッシュ構想の検証と評価

水島リフレッシュ構想に掲げた4つのビジョンの実現に向けて、官民一体となり本構想を実施した結果、現在の水島地域がどのような状態にあるのか、という視点で検証と評価を行った。

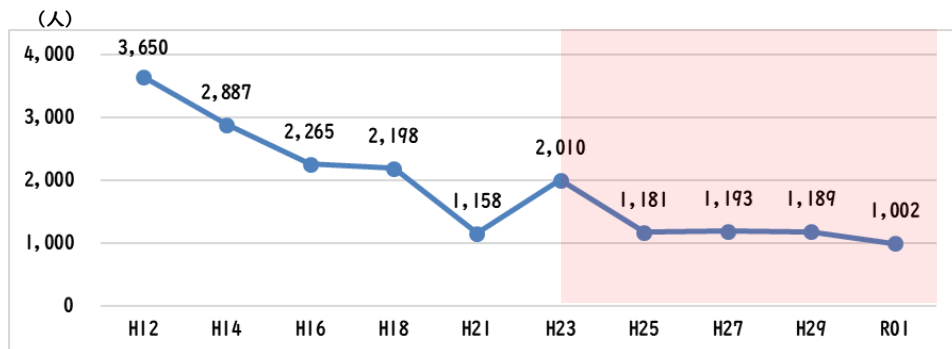
なお、水島リフレッシュ構想では、4つのビジョンの達成状況を客観的に測るための「指標」や「目標値」を設定していないため、関係する各種統計データや施設利用状況、市民アンケート等を資料とした。

※ グラフの網掛け部分は本構想の計画期間（平成23年度～令和2年度）を表す。

(1) 関連する各種統計データ

① 商店街の歩行者・自転車通行量(日曜日)の推移

平成12年度から減少傾向にあるが、平成25年度からはほぼ横ばいで推移している。



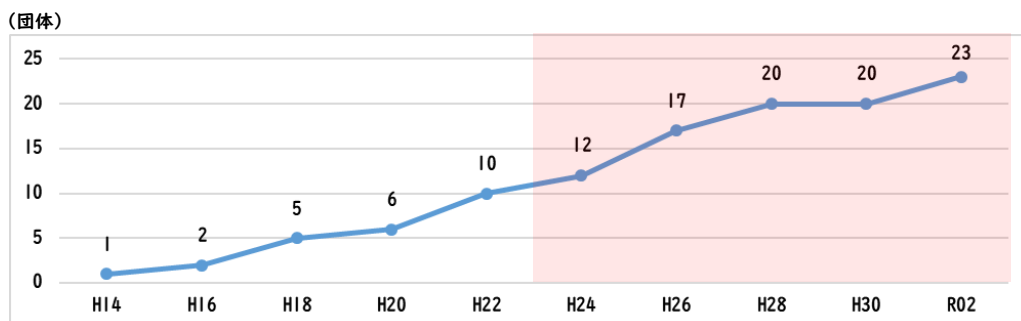
単位：人

調査地点	H12	H14	H16	H18	H21	H23	H25	H27	H29	R01
千島町	601	450	335	454	213	496	286	377	372	386
常盤町	1,543	1,223	1,057	804	427	794	465	378	425	277
栄町	902	651	498	423	326	466	292	274	265	201
弥生町	604	563	375	517	192	254	138	164	127	138
合計	3,650	2,887	2,265	2,198	1,158	2,010	1,181	1,193	1,189	1,002

出典：倉敷市商店街等通行量調査

② 水島地域のNPO法人設立数の推移(累計)

平成14年度から継続して新たな団体が設立されており、水島地域において着実に市民活動が進んでいる。



(参考：年度別のNPO法人設立数)

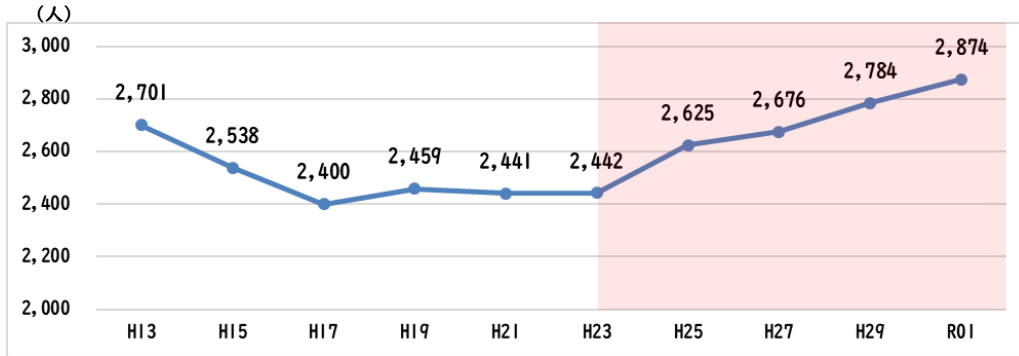
単位：団体

H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
1	0	1	0	3	1	0	0	4	1	1	2	3	2	1	0	0	2	1

出典：内閣府 NPO ホームページ

③ 水島臨海鉄道の乗降者数(1日当たり)の推移 ※水島中心地域内の4駅(弥生駅～水島駅)

平成13年度から平成17年度にかけて減少傾向であったが、平成23年度から増加傾向に転じており、平成29年度からの数値は平成13年度を上回っている。



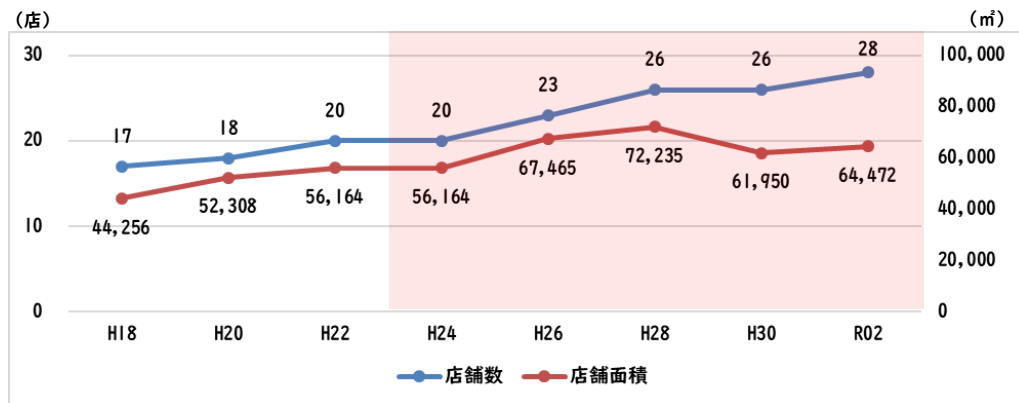
単位:人

駅名	H13	H15	H17	H19	H21	H23	H25	H27	H29	R01
弥生駅	546	483	466	477	477	530	578	580	574	624
栄駅	497	464	413	407	418	448	481	494	537	572
常磐駅	290	305	282	289	279	292	317	323	347	398
水島駅	1,368	1,286	1,239	1,286	1,267	1,172	1,249	1,279	1,326	1,280
合計	2,701	2,538	2,400	2,459	2,441	2,442	2,625	2,676	2,784	2,874

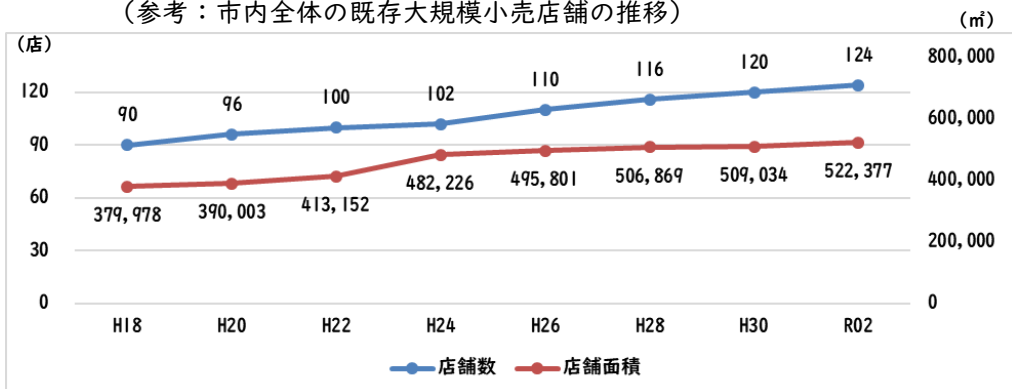
出典:水島臨海鉄道(株)資料

④ 水島地域の既存大規模小売店舗の推移

店舗数は増加傾向で、平成18年度と比較して65%増となっており、店舗面積も増加傾向で、平成18年度と比較して46%増となっている。



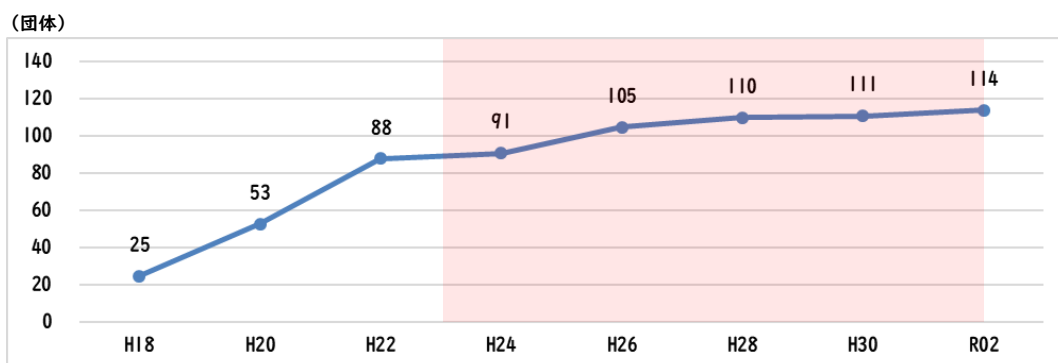
(参考:市内全体の既存大規模小売店舗の推移)



出典:市政概要

⑤ 水島地域の自主防災組織数の推移

平成18年度から継続して新たな防災組織が設立されており、水島地域において着実に自主防災の意識が高まっている。



(参考：年度別の自主防災組織設立数)

単位：団体

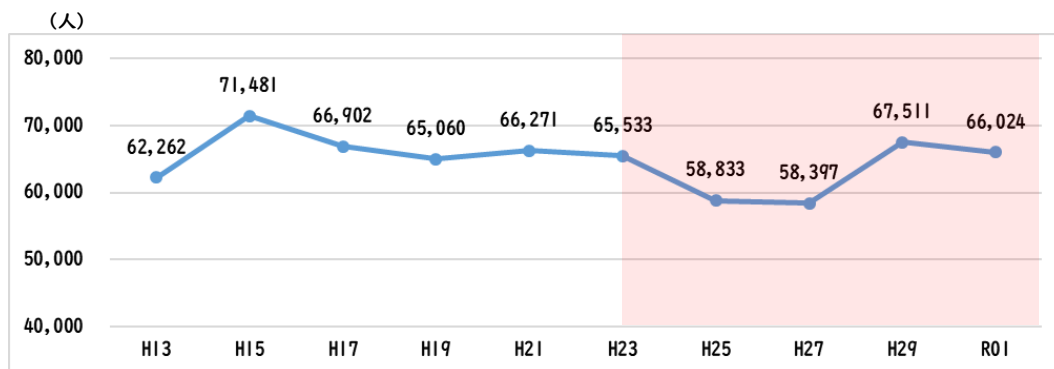
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
15	10	28	0	34	1	1	2	5	9	2	3	0	1	2	1

出典：倉敷市防災推進課資料

(2) 主な施設の利用状況の推移

① 水島中央公園の体育施設の利用状況(軟式野球場、テニスコート、水泳場、相撲場)

平成15年度をピークに減少傾向にあったが水泳場の改修(平成27年7月竣工)から上昇しており、利用人数が回復傾向にある。

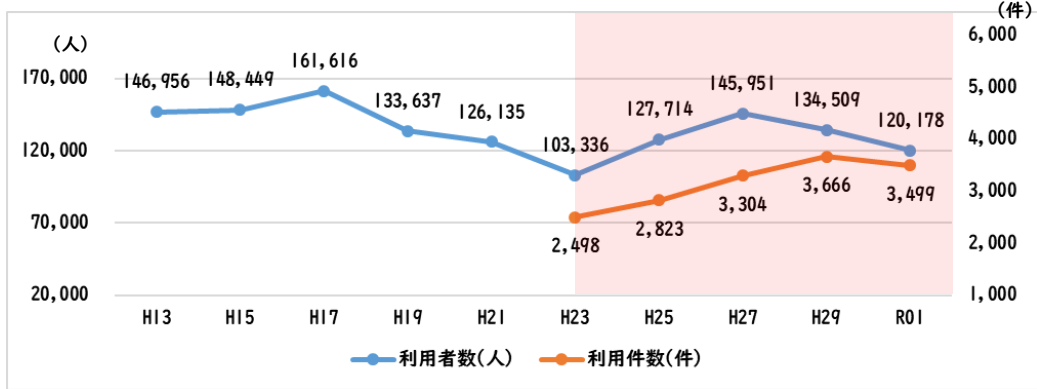


出典：市政概要

② 環境交流スクエア東棟の利用状況(コミュニティフロア、会議室、サントールム、芝生広場、スポーツフロア)

利用者数は平成17年度をピークに減少傾向にあったが環境交流スクエアの整備(平成23年4月から東棟の供用開始)から一旦上昇傾向に転じた。令和元年度は平成23年度の数値を上回っている。利用件数は上昇傾向にあり、グループや団体での利用が活発である。

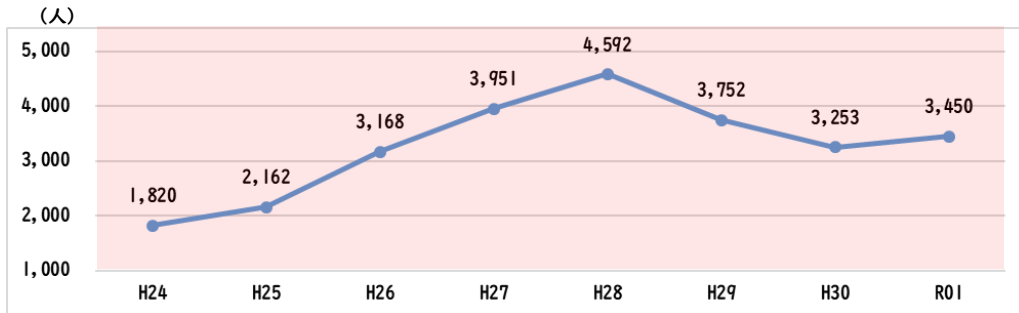
※ H13~H21:旧水島サロンの利用状況、H23~R01:環境交流スクエアの利用状況



出典: 決算における主要な施策の成果の説明書

③ 環境学習センターの利用状況(会議室貸出利用者数)

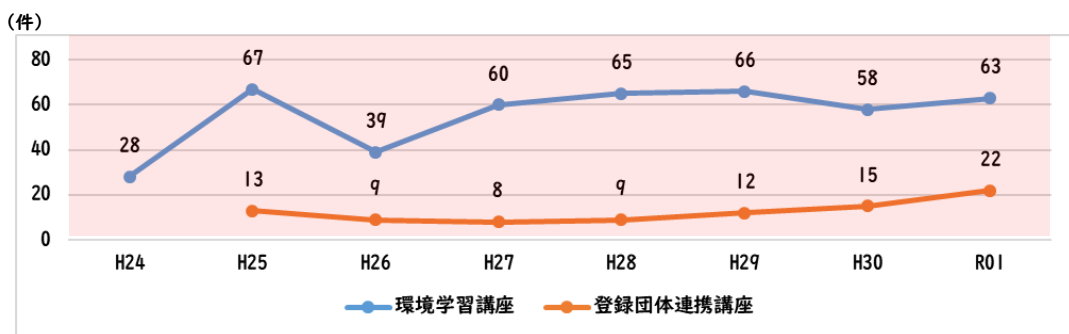
平成24年度から平成28年度にかけて大きく上昇している。平成28年度から減少傾向にあるものの、令和元年度に再び上昇に転じている。



出典: 市政概要

④ 環境学習センターの講座実施数

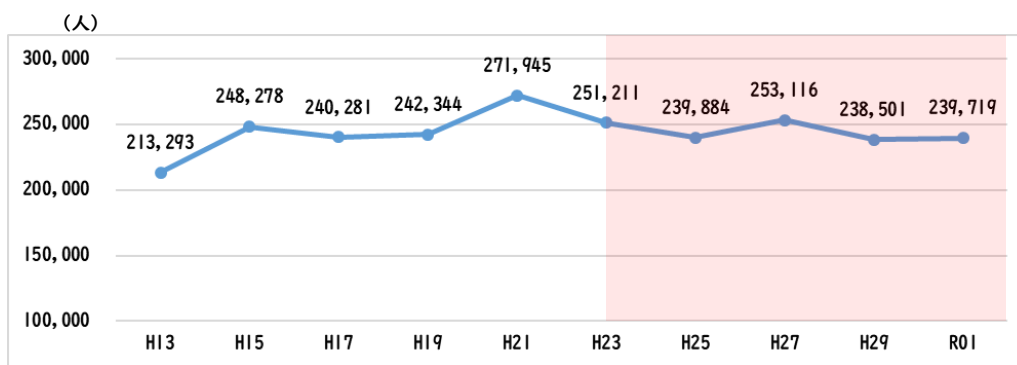
環境学習センター主催の講座及び登録団体との連携講座ともに増加傾向に転じており、環境に関心を持つきっかけづくりが図られている。



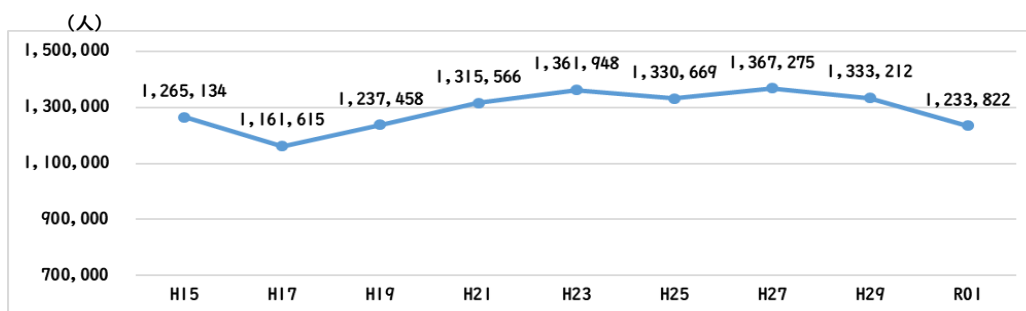
出典: 決算における主要な施策の成果の説明書

⑤ 水島図書館の入館者数

全体的にほぼ横ばい傾向であり、利用者数は安定している。



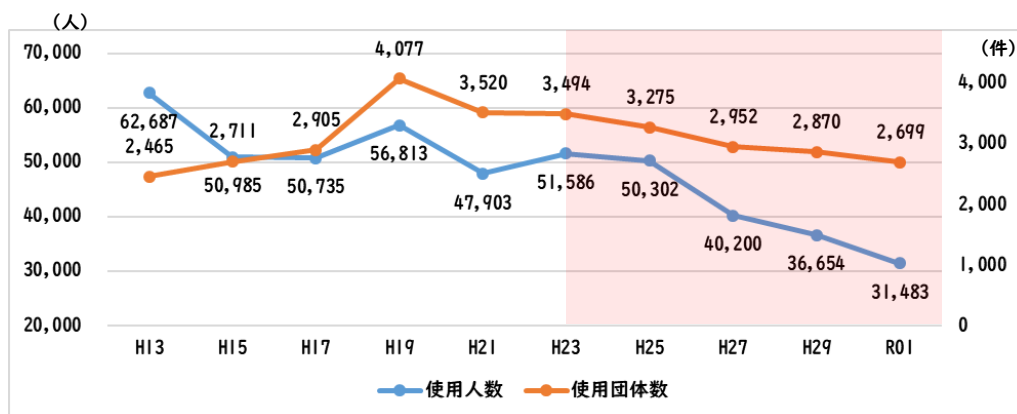
(参考：市内図書館全体の入館者数)



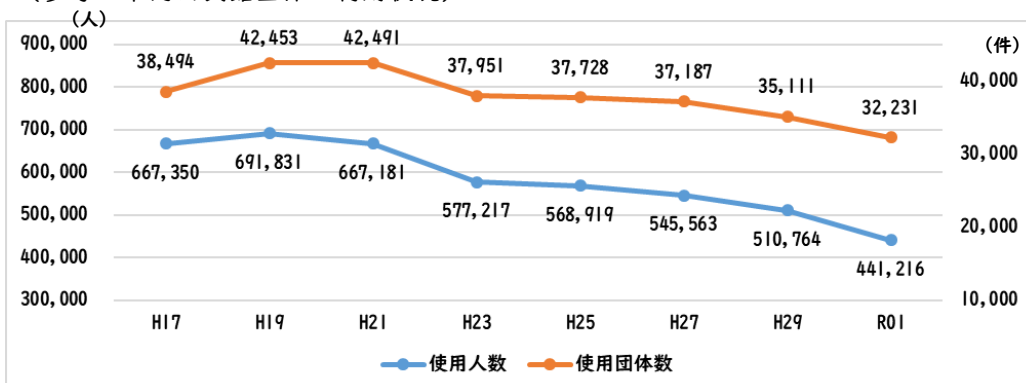
出典：市政概要

⑥ 水島公民館の利用状況

使用人数及び使用団体数ともに減少傾向にある。使用人数と比較して、使用団体数の減少幅は小さい。



(参考：市内公民館全体の利用状況)

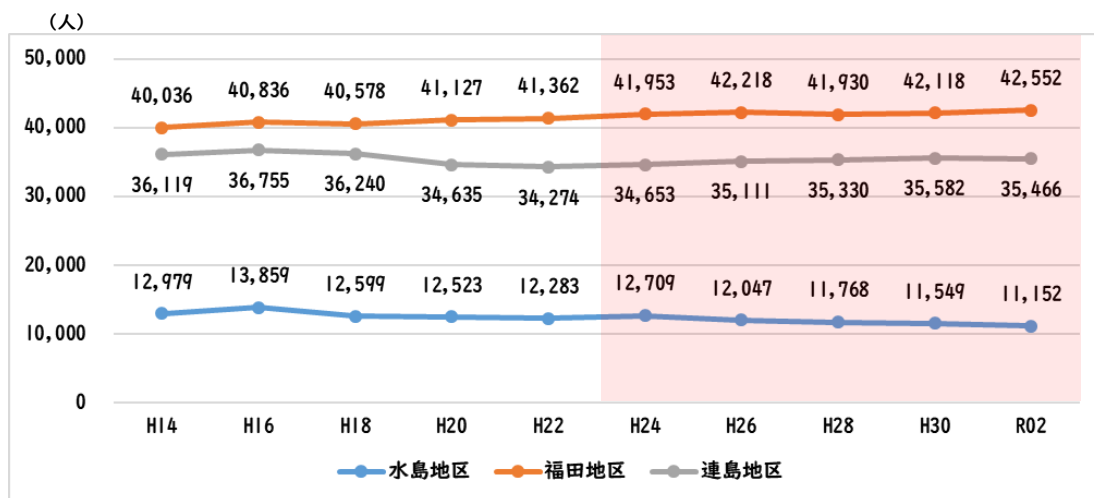


出典：市政概要

(3) 人口の推移

① 水島地域の3地区の人口の推移

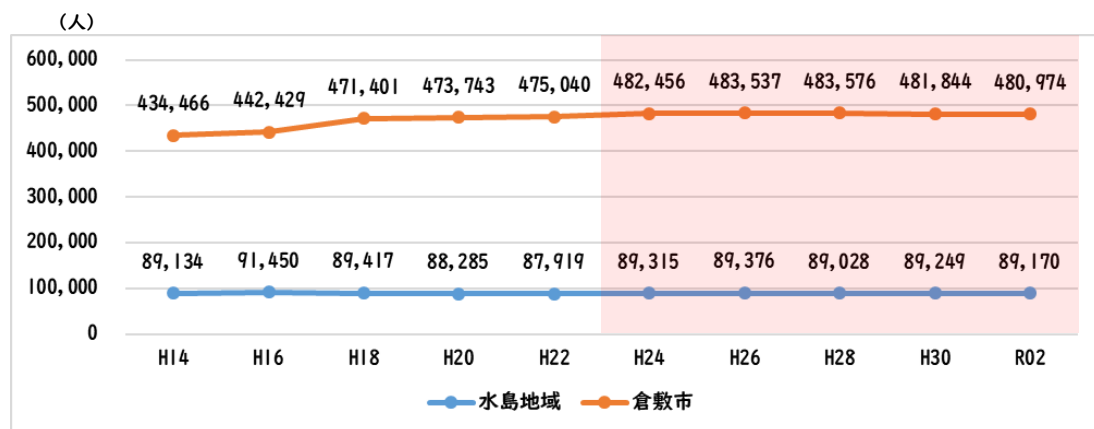
水島地区の人口は減少傾向であり、福田地区の人口は増加傾向にある。連島地区の人口はほぼ横ばいで推移している。



出典：倉敷市統計書

② 水島地域と倉敷市全体の人口の推移

水島地域の人口は横ばいで推移しており、倉敷市全体の人口も横ばいで推移している。



出典：倉敷市統計書

(4) 市民アンケート

① 倉敷市第六次総合計画「まちづくり指標」アンケート調査

倉敷市第六次総合計画において実施した市民アンケートの調査結果から、居住地が「水島地域」と回答した人を抽出し、水島リフレッシュ構想に関連のある調査項目を選び、本構想が掲げる4つのビジョンの達成状況を検証・評価する資料とした。 ※H21(n=244)、H26(n=182)、R01(n=105)

【ビジョンⅠ】 ここで暮らし・働き・学ぶ私たちが地域を愛し、ともにまちづくりに取り組む まち

Q. 公民館やライフパーク倉敷などに自分が参加したいと思う講座や活動がありますか。

自分が参加したいと思う講座や活動があると思う人の割合	H21	H26	R01
十分ある + まあまあある	34.8%	28.6%	37.2%

Q. 町内会をはじめコミュニティの中で、行事や団体活動に年3回以上参加していますか。

町内会をはじめコミュニティの中で、行事や団体活動に最低年3回以上は参加している人の割合	H21	H26	R01
参加している	42.2%	37.9%	36.2%

Q. あなたの住んでいる地域の歴史やまちづくりに関心をもっていますか。

地域の歴史やまちづくりに関心をもっている人の割合	H21	H26	R01
もっている	26.6%	24.2%	29.5%

Q. 地域に課題があるとき、行政だけではなく、地域でできることは地域やコミュニティで解決しようと思いませんか。

地域でできることは地域やコミュニティで解決しようと考えている人の割合	H21	H26	R01
そう思う+どちらかというと思う	31.1%	60.5%	45.7%

Q. 地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと思いませんか。

地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと考えている人の割合	H21	H26	R01
思う	54.9%	47.8%	47.6%

【ビジョンⅡ】 徒歩や自転車で生活できる便利でエコな まち

Q. 市内の歩道のバリアフリーが進んでいると思いませんか。

歩道のバリアフリーが進んでいると思う人の割合	H21	H26	R01
思う	9.0%	13.2%	8.6%

Q. 過去1年の間に、市内を徒歩や自転車で移動していて危険を感じたことがありますか。

車以外の方法で移動していて、過去1年の間に危険だと感じた人の割合	H21	H26	R01
よくある＋ときどきある	82.0%	64.3%	62.8%

Q. 市内の公共交通機関（電車・バス等）に満足していますか。

公共交通機関（電車，バス等）に満足している人の割合	H21	H26	R01
満足＋どちらかという満足	19.3%	19.2%	15.3%

Q. あなたは、自然保護・環境保全に配慮した取り組みをおこなっていますか。

地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合	H21	H26	R01
おこなっている＋いくらかおこなっている	46.7%	45.0%	45.7%

Q. できるだけ地元でとれた食材を利用していますか。

できるだけ地元でとれた食材を利用している人の割合	H21	H26	R01
利用している	40.6%	35.7%	42.9%

【ビジョンⅢ】安全・安心でいきいきと快適に暮らせるクリーンなまち

Q. 地域の防災訓練に参加していますか。

地域の防災訓練に参加している人の割合	H21	H26	R01
している	5.7%	11.5%	12.4%

Q. 自然環境に配慮したまちづくりができていると思いますか。

自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合	H21	H26	R01
できている＋どちらかというできている	27.1%	28.0%	33.3%

Q. 現在住んでいるところが住みやすいと感じていますか。

現在住んでいるところが住みやすいと感じている人の割合	H21	H26	R01
感じている	43.0%	47.3%	51.4%

Q. 身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じていますか。

身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	H21	H26	R01
感じている	50.4%	45.1%	49.5%

Q. 自分の住むまちがきれいだと思いますか。

自分の住むまちがきれいだと思っている人の割合	H21	H26	R01
そう思う+どちらかというと思う	34.8%	51.7%	50.5%

【ビジョンⅣ】水島地域の人々がまちづくり・スポーツ・文化等で集まり交流・連携する まち

Q. 気軽にスポーツを楽しむ施設が身近にありますか。

気軽にスポーツを楽しむ施設が身近にあると思っている人の割合	H21	H26	R01
ある	45.1%	63.2%	54.3%

Q. 市内の商店街が魅力的だと思いますか。

商店街が魅力的であると思っている人の割合	H21	H26	R01
そう思う+どちらかというと思う	4.0%	8.7%	10.5%

Q. いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていると感じていますか。

いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていると感じている人の割合	H21	H26	R01
感じている	24.6%	20.3%	32.4%

Q. 市内の公共施設を利用したいときに利用できていますか。

公共施設を利用したい時に利用できるとしている人の割合	H21	H26	R01
できている	67.6%	65.4%	63.8%

Q. 市内の公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思いますか。

公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思っている人の割合	H21	H26	R01
思う	25.4%	19.8%	21.9%

② 水島リフレッシュ構想の主な取組に関するアンケート調査

【調査概要】

調査場所：水島中央公園、水島支所、水島公民館、水島図書館、水島愛あいサロン

調査対象：住民、施設利用者、まちづくり団体など

調査方法：①現地聞き取りによる配布・回収

②各施設に設置したアンケートボックスによる配布・回収

③まちづくり団体等への配布・回収

調査期間：令和2年11月21日(①)、令和2年12月23日～令和3年2月12日(②)、

令和2年11月25日～令和3年3月30日(③)

【回答者の属性等】

回答者数：210人(男性89人、女性121人)

年齢構成：20代未満5人、20代8人、30代60人、40代30人、50代25人、60代37人、70代以上45人

居住地：倉敷市内203人、倉敷市外7人

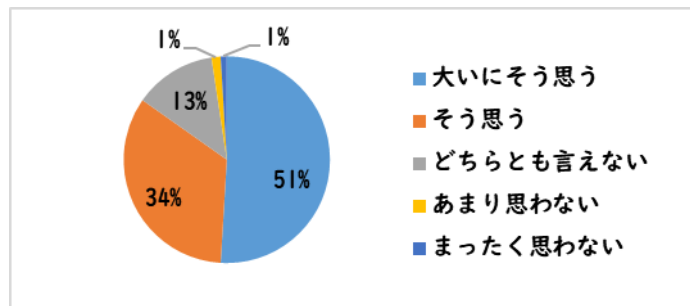
職業：会社員65人、自営業7人、パート・アルバイト・派遣35人、専業主婦主夫32人、学生8人、

無職55人、その他8人

問1-① 水島中央公園がリニューアルされ、きれいで快適になり、利用しやすくなった。

「大いにそう思う」という回答が最も多く51%を占めており、「そう思う」という回答と合わせると全体の85%を占めている。

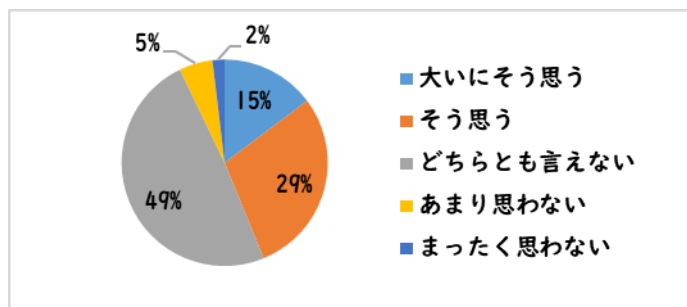
項目	件数
大いにそう思う	107
そう思う	71
どちらとも言えない	27
あまり思わない	3
まったく思わない	2
総計	210



問1-② 環境交流スクエア(水島愛あいサロン)が整備され、地域の活動や交流の拠点が新たに生まれた。

「どちらとも言えない」という回答が最も多く49%を占めている。一方「大いにそう思う」と「そう思う」という回答を合わせると44%を占めている。

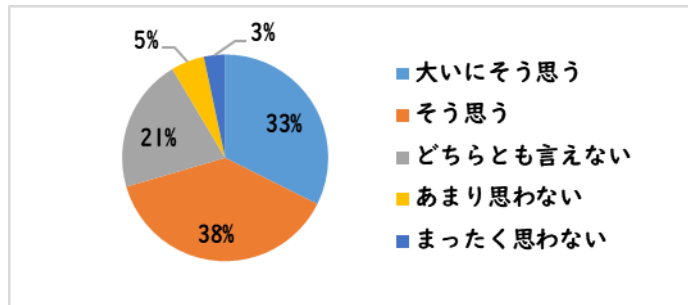
項目	件数
大いにそう思う	31
そう思う	61
どちらとも言えない	103
あまり思わない	11
まったく思わない	4
総計	210



問1-③ 支所付近の八間川東側沿いに緑地が整備され、移動がしやすくなり、景観も向上した。

「大いに思う」と「そう思う」という回答の割合が高く、この2つを合わせると、全体の71%を占めている。

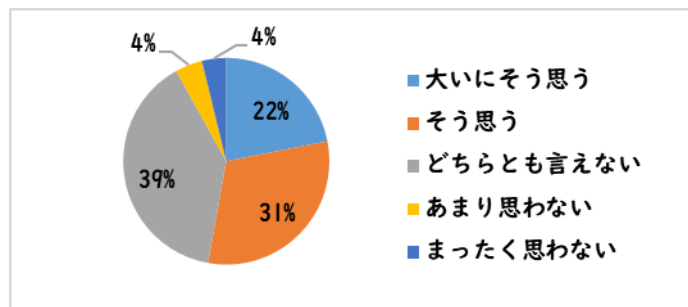
項目	件数
大いに思う	68
そう思う	80
どちらとも言えない	44
あまり思わない	11
まったく思わない	7
総計	210



問1-④ 幹線道路の歩道と車道の段差解消やカラー舗装等により、移動がしやすくなった。

「どちらとも言えない」という回答割合が高いが、一方で「大いに思う」と「そう思う」という回答を合わせると53%と過半数を占めている。

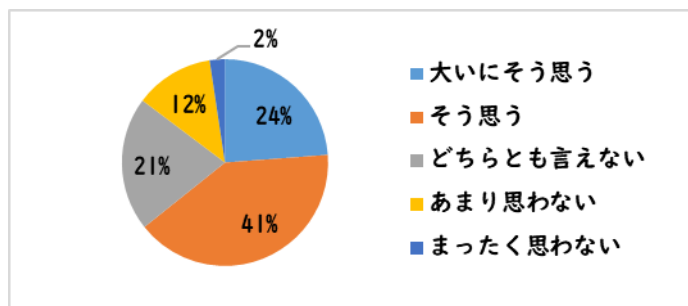
項目	件数
大いに思う	46
そう思う	65
どちらとも言えない	82
あまり思わない	9
まったく思わない	8
総計	210



問2 市民協働によるソフト事業により、水島中心地域に更なる賑わいが生まれた。

「大いに思う」と「そう思う」という回答を合わせると全体の65%を占めている。一方で「あまり思わない」という回答が12%あり、他の質問より高い傾向がある。

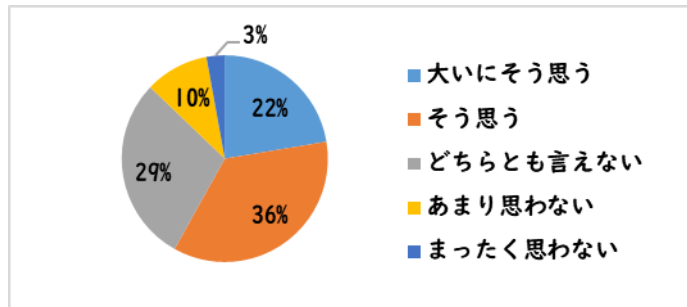
項目	件数
大いに思う	50
そう思う	85
どちらとも言えない	44
あまり思わない	26
まったく思わない	5
総計	210



問3 これらの事業の実施後、水島中心地域はより住みやすいまちになった。

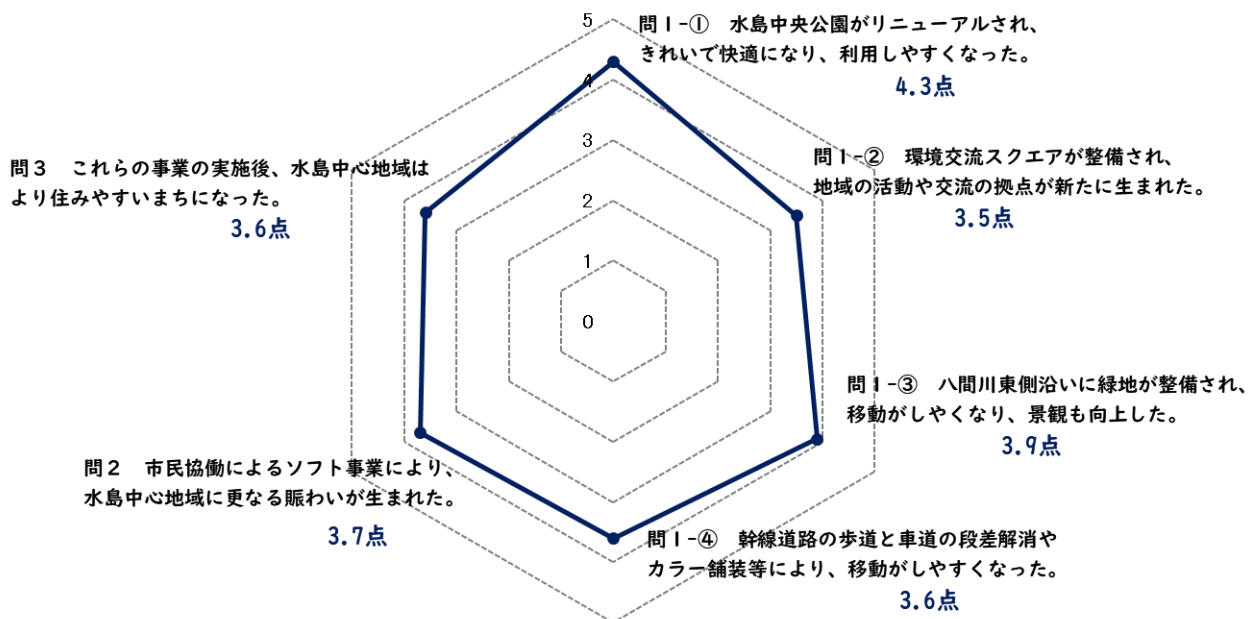
「そう思う」という回答が最も多く36%を占めている。「大いにそう思う」という回答を合わせると、全体の58%を占めている。

項目	件数
大いにそう思う	47
そう思う	75
どちらとも言えない	61
あまり思わない	21
まったく思わない	6
総計	210



■ アンケートの評価

- 水島中央公園のリニューアルに対する満足度が最も高く、「大いにそう思う」「そう思う」という回答が全体の85%を占めている。また、他の項目においても概ね高い評価を得ている。
- 水島中央公園のリニューアル、八間川沿いや幹線道路の環境整備など、生活に身近な項目の順に、満足度が高い結果となっており、これらの項目が、「問3 より住みやすいまちになった」に対する満足度の高さに繋がった要因であると考えられる。
- 環境交流スクエアについて、「どちらとも言えない」と回答した人の割合が最も多かったものの、不満に感じている人の割合が低いことから、日常的に利用する人の満足度は高いと考えられる。
- 「水島朝市」や「クリスマスイルミネーション」、新たに生まれた「いすー1 グランプリ」や「臨鉄ガーデン」など、民間主導の交流イベントが定期的で開催され、更なる賑わいが生まれたと感じる回答者が全体の65%を占めた。一方で「あまり思わない」「まったく思わない」という回答が14%あり、平時の賑わい創出には繋がっていないことがその要因と考えられる。



※回答者の評価を次のとおり5段階で数値化し、質問項目ごとに平均値を算出。

「大いにそう思う」5点、「そう思う」4点、「どちらとも言えない」3点、「あまり思わない」2点、「まったく思わない」1点

③ 水島地域における水島地区の依存度

平成30年度に実施した「水島地域力調査」において、水島地区が水島地域のなかでどのようなポジションにいるのかを検証した。次の資料から、水島地区は「通院や日常の買い物、習い事」などの生活行動について、水島地域での依存度(=吸引力)が高いことが伺える。一方で、「非日常の買い物」については、倉敷地域への依存度が高いことが伺える。

【病院・診療所への通院】

依存度	水島の方	連島の方	福田の方
高	水島70.4%	水島40.0%	水島36.0%
↑	倉敷20.3%	連島30.3%	福田30.6%
↓	連島2.5%	倉敷24.0%	倉敷25.9%
↓	福田2.5%	玉島1.8%	連島3.4%
低	岡山1.3%	岡山1.8%	児島2.0%

※3地区とも水島地区への依存度が高い。

【食料品や雑貨品など日常の買い物】

依存度	水島の方	連島の方	福田の方
高	水島71.0%	連島65.2%	福田35.3%
↑	連島14.3%	倉敷16.5%	水島28.4%
↓	倉敷10.6%	水島15.9%	倉敷22.4%
↓	福田2.1%	玉島1.8%	連島12.5%
低	玉島0.7%	岡山0.4%	児島0.7%

※3地区とも地元への依存度が高いが、水島地区への依存度も比較的高い。

【衣料品や美容、趣味など非日常の買い物】

依存度	水島の方	連島の方	福田の方
高	倉敷49.5%	倉敷63.0%	倉敷65.2%
↑	水島38.4%	連島18.2%	水島14.6%
↓	岡山6.1%	水島10.9%	福田13.9%
↓	連島2.8%	岡山6.1%	岡山4.3%
低	福田0.8%	玉島1.0%	連島0.7%

※3地区とも倉敷地域への依存度が高く、水島地区への依存度は比較的低い。

【習い事や教養・文化活動】

依存度	水島の方	連島の方	福田の方
高	水島51.4%	倉敷45.9%	倉敷43.5%
↑	倉敷34.9%	連島26.6%	福田22.1%
↓	岡山5.9%	水島17.5%	水島21.4%
↓	連島2.6%	岡山5.8%	連島4.6%
低	福田2.0%	玉島2.0%	岡山4.2%

※3地区とも倉敷地域への依存度も高いが、水島地区への依存度も比較的高い。

(5) まちづくり協議会の設立

令和元年度から、まちづくり活動に取り組んでいる団体や商店街、自治会が参加するワークショップを開催し、水島中心地域のまちづくりについて、その取組の方向性を継続的に検討した。

そして、このワークショップが契機となり、令和3年11月に地元企業や金融機関、交通事業者も加わった「水島まちづくり協議会」が設立された。



4 水島リフレッシュ構想の総括

(1) 全体総括

水島中心地域は、水島臨海工業地帯の整備に合わせて公共施設等の都市基盤が整備され、高度経済成長期にはまちは盛況を呈していた。しかし、バブル崩壊後の長引く不況、企業の合理化による社宅等の廃止、大手スーパーの撤退、商店街の空き店舗が目につくようになっていった。

そのような状況のなかで、倉敷市は平成22年8月に概ね10年後のあるべき姿を見据えた水島リフレッシュ構想を策定するため、関係部署の職員で構成したプロジェクトチームを設置し、市民の皆様から御意見等をいただくとともに、平成19年に水島地域で実施したまちづくりワークショップや市民・コンビニート企業へのアンケート調査を行った。

これらのプロセスを経て策定した本構想について、平成22年9月から順次説明会を開催し、まちづくり団体や大学、市民ふれあいトーク、市民説明会等を通じて広く御意見をいただき、事業の有効性や実現性、課題等について整理・検討を行い、本構想にもとづく事業計画をとりまとめた。

そして、この水島リフレッシュ構想にもとづき、水島中心地域の既存公共施設のリニューアルや道路等のインフラ整備とともに、住民主導による交流イベントや地域活動等のソフト事業が展開されるなど、水島地域全体に活力をもたらすよう、官民一体となって水島中心地域の活性化に取り組んだ。

ハード事業としては、平成24年度から平成29年にかけて水島中央公園をリニューアルし、多目的芝生広場や噴水・遊具広場、多目的トイレ、プール等を整備したことで、現在、多くの来園者で賑わっている。さらに、水島中央公園は水島地域における大規模広場の一つであることから、広域避難場所としてソーラー誘導灯やマンホールトイレ等を整備し、防災機能の強化を図った。

また、岡山県から譲渡された旧水島サロンを環境交流スクエアとして、平成23年度にコミュニティフロアやプール、トレーニングジム等を備えた東棟と芝生広場を、平成24年度に環境学習センターと環境監視センターが入居する西棟をオープンさせ、地域の活動や交流の拠点として、また環境学習の拠点として生まれ変わらせた。

さらに、市街地環境の向上を図るため、平成24年度から平成27年度にかけて八間川沿いの水島郵便局から水島警察署までの区間の緑地を整備するとともに、八間川東側の3車線を東に移動し、郵便局以北と警察署以南の車線を整合させた。加えて、平成24年度から平成29年度にかけて八間川東側と西側、商店街筋の古い舗装に切削オーバーレイを施行し、安全な通行を確保するとともに、商店街歩道のカラー舗装を実施した。

ソフト事業としては、環境交流スクエア芝生広場の整備を契機に、平成23年度からまちづくり団体と商店街振興連盟、NPO法人が協力して「水島朝市 with フリーマーケット」が開催されるようになった。また、平成27年度からは地元商店主の方々为中心となって企画された「いすーI グランプリ」が、平成29年度からは食事と音楽がゆったり楽しめるナイトマルシェ「臨鉄ガーデン」が開催されるようになり、いずれも会場は毎回多くの人で賑わっている。

さらに、水島港まつりやX'masイルミネーション in 水島、ミズシマタ暮れガーデン、八間川両岸のフラワーロードの植栽等の住民主導による交流イベントや地域活動も長年にわたり継続実施されている。

これらの官民一体となった取組から、アンケート調査においては、水島中央公園のリニューアルや環境交流スクエアの整備、八間川沿いの緑地整備など、まちの住みやすさについての満足度は大きく向上している。また、水島地域では新たなNPO法人や自主防災組織が継続して設立されており、さらに、まちづくりワークショップが契機となり令和3年11月に水島まちづくり協議会が設立されるなど、様々な分野で住民主導のまちづくりが進展した。

(2) 今後に向けて

倉敷市の今後のまちづくりの方向性を示した倉敷市立地適正化計画では、倉敷駅周辺の本市中心部を広域拠点、児島・玉島・水島の中心部を地域拠点と位置づけ、各地域の中心部等に「交流や暮らしやすさを創出する都市機能」が集まる拠点を形成していくこととしている。また、倉敷市では現在、公共施設の10年後の状況を想定した対応方針を示す倉敷市公共施設個別計画を策定中である。

今後、水島中心地域において、さらにまちの賑わいや利便性を高めるためには、公共施設の複合化を検討することにより、水島地域の多くの人々が訪れやすい交流の場を創出し、地域拠点の形成に繋げていく必要があると考える。今後も、多様な担い手で構成されるまちづくり団体、自治会、行政等が連携・協力しながら、官民一体となって水島地域全体の持続可能なまちづくりを進めていくことが重要であるとする。

水島リフレッシュ構想総括報告書

倉敷市建設局まちづくり部まちづくり推進課

〒710-8565 倉敷市西中新田 640 番地

Tel:086-426-3025 Fax:086-421-1600

E-mail:citydevpromo@city.kurashiki.okayama.jp